

令和2年度 学校評価自己評価及び学校関係者評価（外部評価）表

東広島市立高美が丘中学校

教育目標	知・徳・体の調和がとれ、思いやりと行動力のある生徒の育成	評価 4・・・目標を上回って達成 3・・・ほぼ目標どおりに達成 2・・・目標をやや下回る 1・・・目標をかなり下回る
経営理念	<ミッション・ビジョン> 生徒・保護者そして地域との信頼関係を基盤とし、地域とともにこれからの時代を担う生徒の育成をめざす学校 ～学びたい 学ばせたい やりがいのある学校～	

項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	評価		短期経営目標の達成状況
						前期	後期	
学習指導	1	○「主体的な学び」を推進し、思考力・表現力を高める生徒の育成 (主体性・表現力) 「課題発見・解決学習」を手立てとして	自分から進んで「学び」に向かう生徒の育成	・各授業で、主体的な学びを推進する。 ・家庭での自主学習を計画的に実行させる。	・生徒学習意識調査「授業では、進んで学習している。」肯定的評価90%以上 ・自主学習時間1日1時間以上90% ・課題提出100% ・学習面談年間2回以上	3	4	・91.4% 生徒アンケートの結果、「授業では、進んで学習している。」は肯定的に評価された。継続して主体的な学びを生徒に意識させていく。 ・家庭での自主学習時間1時間以上の生徒は86.3%だったが、1人当たりの平均自主学習時間は1人当たり1時間30分を上回った。家庭学習1時間未満の生徒については、個別に面談をし、意識を高めさせるよう継続して指導していく。 ・課題提出「宿題の提出をきちんとしています。」は91.9%だった。課題提出の声掛けを継続し、生徒の意識を高めた結果、1年生が12月の調査では7月に比べて4ポイント上回っていた。 ・学習面談を、年間2回以上実施できた。特に2、3年生は学習や進路について充実した面談ができた。
			自分から課題を発見し解決できる生徒の育成	・各授業で、課題を発見し解決できる取組を行う。	・生徒学習意識調査「授業では、学習課題を見つけ、解決している。」肯定的評価90%以上	3	3	・86.8% 生徒学習意識調査「授業では、学習課題を見つけ、解決している。」は概ね肯定的に評価された。コロナ禍により、講義型で進度を上げた結果、一部授業で、表現の場の設定が不十分だったことなどがマイナス要因と思われる。授業において、課題解決学習を継続する。
			自分の「学び」や意見を表現できる生徒の育成	・各授業で、意見を表現できる学習等の取組を行う。	・生徒学習意識調査「授業では、自分の考えを発表している。」肯定的評価90%以上	2	2	・64.5% 生徒学習意識調査「授業では、自分の考えを発表している。」は否定的な評価だった。新型コロナウイルス感染予防のため、授業でグループ活動等学習形態の工夫ができにくくなっているが、今後は新しい生活様式に即した授業改善を積極的に行っていく。また、全生徒に用意されたタブレットを活用した授業を計画的に設定し、自分の考えを発表したり評価したりする場面を設定し、高美が丘中の主体的な学びスタイルを確立したい。
			自分で積極的に情報を収集・選択・活用できる生徒の育成	・図書室またはPC教室を利用した調べ学習、まとめ学習等の取組を一人一回以上行う。	・生徒学習意識調査「授業では、調べたり、まとめたりしている」肯定的評価90%以上	2	3	・82.2% 生徒学習意識調査「授業では、調べたり、まとめたりしている」は目標を少し下回った。多くの生徒は肯定的に評価しているが、授業において、調べたり、まとめたりする場面をもっと積極的に設定し、生徒に意識づけをしていく。
生徒指導	2	○これからの時代に生きる基盤として、思いやりや行動力を持った生徒の育成 (社会性・協調性) 「寄り添い・かかわりきる生徒指導」を手立てとして	「生活三訓」を意識して生活できる生徒の育成	・生徒会活動・部活動を軸とした自主的な取組を推進する。	・生徒生活意識調査「私は、生活三訓を意識して行動している。」肯定的評価90%以上	4	4	・97% 生徒生活意識調査「私は、生活三訓を意識して行動している。」は肯定的な評価だった。生活三訓をベースとした各取組を今後も促していく中で、上級生から下級生へ模範となる姿を示すことができるよう「当たり前の行動」を学校全体で継続していく。
			自分の役割を意識して行動できる生徒の育成	・縦割り集団による委員会活動や部活動の充実を図り、行事や大会での成功体験を基に生徒の自主性を育成する。	・生徒生活意識調査「私は、自分の役割を意識して行動している。」肯定的評価90%以上	4	4	・95.9% 生徒生活意識調査「私は、自分の役割を意識して行動している。」は肯定的な評価だった。委員会活動や部活動での「自分がすべきこと」を明確に持ち、積極的な活動に取り組む姿が見られた。今後は役割の上で適切な行動をとる、「より良い行動」を意識させていきたい。
			自他ともに大切にできる生徒の育成	・学校生活の中で長所を見つけ伝え合う場を設ける。 ・生徒の関わり合いの場を授業・部活・委員会活動の中で意識的に設定する。	・生徒生活意識調査「私は、自他を大切にし、思いやりを持って行動している。」肯定的評価90%以上	4	4	・96.4% 生徒生活意識調査「私は、自他を大切にし、思いやりを持って行動している。」は肯定的な評価だった。コロナ禍だからこそ、自らの行動が他者に与える影響の大きさを自覚し、人との関わり方を多くの生徒が見直しながら日々を過ごしていた。
信頼される学校	3	○『学びたい、学ばせたいやりがいのある学校』づくり (学校組織の活性化、小学校・地域との連携・協働) 「地域づくりの要となる学校」の推進を手立てとして	組織的な学校運営体制の確立と働き方改革を推進する学校づくり	・各主任が課題や情報を共有し、有機的・機能的な取組を推進する。 ・部活動指導方針の徹底、業務改善の推進を図る。	・教職員意識調査「高美中の教職員は、各種取組において組織的に動いている」100%、「子供と向き合う時間が確保されている」80%以上 ・入退校記録「時間外勤務が月80時間を超える教員」0人	3	3	・100.0% ・76.5% 組織的な学校運営体制確立の評価値は100%と高かったが、部活動終了時間が早まった11、12、1月に入っても時間外勤務月80時間以内全員実施は達成できなかった。GIGAスクール推進による生徒タブレット関連の設置作業や課題準備等に新たな作業が加わり、一層の業務改善を進めなければ来年度の業務時間短縮は極めて困難な状況である。
			コミュニティースクールによる学校運営が活性化する学校づくり	学校の課題に対して、学校運営協議会が機能化している。	・学校の課題解決への対応件数が2件以上	3	4	・3件 12月末に予定通り門松づくりを開催できた。新型コロナ禍において、運営委員長・地域の皆さんの絶大な協力を頂き、実施することができて生徒も非常に喜んでた。今年度は、密を避けるために有志を募り、少数精鋭で作業し、地域センター分は材料のみ運搬させていた。
			「学校緑化活動」を発展・継続させる学校づくり	・学校緑化活動の年間を見通し、計画的に推進する。	・生徒・保護者・教職員意識調査「私は、積極的に学校緑化活動に参加した。」「学校は、積極的に学校緑化活動を行っている。」肯定的評価90%以上	4	3	・94.7% 1名の方が「3」の評価を出されたが、例年通りの緑化活動に取り組んでいた。尚且つ、校舎内外や教室等の環境整備への取組では達成率が100%と、先生方の意識は向上され、生徒が落ち着いて学習することにつながったと思われる。但し、GIGAスクールの取組等により校内緑化活動委員会が開けなかったことで評価を「3」とした。
		小・中9年間の学びと育ちを充実させる学校づくり	・小6と中1のつなぎを意識した小中連携を行う。	・小・中学校間連携年間10回以上	4	3	・9回実施 PTA家庭教育講演会の運営を11月に小中のPTAや町内各校の協力で実施できたことは小中連携の一翼を担ったが、小中の教諭レベルでの実質的な協議等はコロナ禍において決してひゆかできるものではなかった。次年度の在り方を工夫してコミュニティースクールとしての実働する取組を検討していきたい。	

改善の方向性

	学校関係者評価（外部評価）
〈学習指導〉	○主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善と工夫 ○各種検定への受検（3年生） ○学力補充学習の充実と学習習慣づくりの支援 ○学習に対する面談を定期的に行い意欲喚起 ○図書環境の充実と読書活動の充実
〈生徒指導〉	○いじめアンケートの計画的実施等による未然防止 ○生徒委員会等の取組を通じた「生活三訓」の日常実践 ○不登校生徒の状況把握、情報共有、保護者連携及び関係機関等との連携・充実 ○生徒へ寄り添い、かかわりきる指導の徹底 ○生徒指導の三機能を活かした授業スタイルの確立
〈信頼される学校〉	○組織的な学校運営体制の確立、働き方改革の推進（子供と向き合う時間の確保、長時間勤務の縮減） ○「学校緑化活動」を通じた保護者、地域との連携のさらなる充実 ○学校だよりの配布及びHPの更新 ○コミュニティースクール実施による積極的に地域連携の充実 ○小中連携による挨拶運動、授業交流、合同研修会など積極的な交流活動の実施

コロナ禍で学習指導など教育を推進すること自体が大変であったと思うが、個別に対応した学びを保証してほしい。教職員の時間外勤務や部活動指導の問題は、その負担が子どもの指導に影響するので、学校全体で取り組み、無理のないように業務にあたってほしい。地域の中における教育を一層推進していけるようお願いしたい。